



# 日本語学会

The Society for Japanese Linguistics

## 2020年度 春季大会

2020年5月16日(土)・17日(日) 東京外国語大学 研究講義棟

### 5月16日(土)

1階 マルチメディアホール101		司会:日高 水穂			
12:30 ~ 13:10	会長対談 —浦本直彦氏を迎えて—	人工知能学会会長 日本語学会会長		浦本 直彦 金水 敏	
口頭発表	A会場 1階 大講義室115	B会場 1階 中講義室108	C会場 2階 大講義室226	D会場 2階 大講義室227	
	司会:吉田 永弘	司会:櫻井 豪人	司会:江口 正	司会:高田三枝子	
13:30 ~ 14:10	A-1 上代における助詞 もと希望表現の共起に ついて 小池 俊希	B-1 泣き方の表現に 見られる性差—小説に おける日本語とロシア 語の比較から— 宿利由希子 カリュジノワ, マリーナ	C-1 可能構文における 格交替の規則から見た 「ニ-ヲ」パターンの 制約 李 娜	D-1 現代日本語感動詞 「あら」の音調と意味 謝 霞	
14:20 ~ 15:00	A-2 平安時代古記録 の複合動詞—後項 動詞の補助動詞化に 着目して— 柳原恵津子	B-2 「主観性」の文法 的定義と直示中心 デロワ中村 弥生	C-2 「ていらっしゃる」 と、その非敬語形 ベリナ タイル	D-2 方言アクセント から再建される日琉 祖語の3拍名詞類別 語彙 大門 知樹	
15:10 ~ 15:50	A-3 変体漢文の構文 論的研究—受身文の 旧主語表示を例に— 田中 草大	B-3 「1ミリもない」考 榎橋比早子	C-3 条件表現の連体 修飾用法—その意味 解釈を中心に— 杜 暁傑	D-3 階層によるラ行 五段化の通方言的 一般化—九州方言を 中心に— 宮岡 大	
	司会:金 愛蘭	司会:甲田 直美	司会:三井はるみ	司会:米谷 隆史	
16:10 ~ 16:50	A-4 〈僅少〉を表す 語彙の形成 山際 彰	B-4 テキストの結束 性の記述—「辞書は 新しいのがいい」構文 の主題X名詞句に 注目して— 石原佳弥子	C-4 動名詞の名詞 述語文「VN+だ」の 意味用法をめぐって 石 立珣	D-4 音韻論的角度 からみた「オトイ」と 「オツイ」 王 竣磊	
17:00 ~ 17:40	A-5 タシカニの語史 —〈讓歩〉用法の成立 過程及びその要因— 清田 朗裕	B-5 広告における 特異な引用表現に ついての—考察 久賀 朝	C-5 動詞に含意され ない副詞的表現の 結果状態解釈の成立 難波 えみ	D-5 『古言梯』以降 の古典仮名遣い系統 の仮名遣書について —漢語に注目して— 姜 盛文	
	大学会館 1階 ミール			司会:青木 博史	
18:00	懇親会				

2020年5月16日(土)・17日(日) 東京外国語大学 研究講義棟

5月17日(日)

ワーク ショップ	ワークショップ0 1階 大講義室115	ワークショップ1 1階 中講義室108	ワークショップ2 2階 大講義室226	ワークショップ3 2階 大講義室227
	担当:三井はるみ	担当:米谷 隆史	担当:吉田 永弘	担当:金 愛蘭
9:40 ~ 11:10 [RS] ~ 11:40	〔一般公開〕言語習熟論 へ向けて—日本語研究と 国語教育・初年次教育など— 森山 卓郎, 矢澤 真人 [RS] 安部 朋世	W-1 国文学研究資料館 の情報資源の日本語学 研究への活用 岡田 一祐, 宮本祐規子 山本 和明, 清水 康行	W-2 奥田靖雄構文 理論の継承と発展 志波 彩子, 早津恵美子 [RS] 茶谷 恭代, 前田 直子	W-3 『日本語歴史 コーパス』活用入門 小木曾智信, 服部 紀子 [RS] 松崎 安子
ポスター 発表	1階 ガレリア(中央部) 担当:竹田 晃子, 山本 真吾			
11:10 ~ 12:40	P-1 【招待発表】明治初期の口語語彙 と文語語彙—『日本語歴史コーパス』の 「明治初期口語資料」と『明六雑誌』の 語彙比較— 田中 牧郎	P-2 『日本語歴史コーパス 奈良 時代編II 宣命』の公開 吳 寧真, 池田 幸恵 須永 哲矢, 小木曾智信	P-3 『日本語歴史コーパス 江戸 時代編III 近松浄瑠璃』の公開 片山 久留美, 小木曾智信 上野 左絵	
	P-4 『日本語歴史コーパス』に 対する文脈化単語埋め込み情報 付与 浅原 正幸, 加藤 祥	P-5 八代集の掛詞—一部立との 関連において— 松崎 安子	P-6 コーパスによる程度副詞 イタクの使用実態の一考察—通時 的变化を注目して— 華 迪聖	
	P-7 中国語から意味のみを受け容 れた量語形漢語副詞の変化について 蔡 嘉昱	P-8 【招待発表】キリシタン版に みる中世日本語の漢字と和訓の 常用性 白井 純	P-9 変体仮名字形データベース の構築と公開 間淵 洋子, 福井 尚子	
	P-10 フコト点図共有・比較システム の開発 堤 智昭, 田島 孝治 高田 智和, 小助川貞次	P-11 外来語「アップ(する)」の 語義と用法について—コーパスを 用いた分析— 松本 理美	P-12 近代日本語における無情物 主語受身文—翻訳小説中の訳出例 を中心に— 仲村 怜	
	P-13 「好きだ」の対象を示すヲ格 と情報構造—ノダ文に着目して— 池田 尋斗	P-14 丁寧形基調の文章における 従属節の普通形述語の出現要因 —「から」節を例として— 鏡 耀子	P-15 結論の述べ方の指導法に ついての試案—「以上のことから」 の機能に注目して— 櫻井芽衣子	
	P-16 丁寧体過去形式「～ました です」の動向—『国会会議録』過去 72年分のデータから— 神作 晋一	P-17 発話・理解努力の軽減に優先 する體系の単純化—市来・串木野 方言の継続相を資料に— 黒木 邦彦	P-18 雑談における母語話者と非母語 話者の笑いの使用傾向の分析—『BTSJ 日本語自然会話コーパス2018年版』を 用いて— 宇佐美まゆみ, 張 未未	
	P-19 現代日本語の交感発話の 分類に関する考察 肖 潔	P-20 「あ」系感動詞の意味用法に ついて 姚 瑤	P-21 【招待発表】1万人を対象とした 全国方言意識Web調査に基づく話者 類型の抽出—「方言育ち共通話話者」 の地域差・年代差を中心に— 田中ゆかり, 前田 忠彦 林 直樹, 相澤 正夫	
	1階 マルチメディアホール101	司会:日高 水穂		
	13:10 ~ 13:30	大会式典	会長挨拶 会場挨拶 学会賞授賞式	会長 金水 敏 東京外国語大学長 林 佳世子
13:30 ~ 13:50	会員総会	司会:加藤 大鶴		
1階 マルチメディアホール101	企画担当:森山由紀子, 加藤 大鶴			
14:00 ~ 17:00	シンポジウム	〔一般公開〕データから見る日本語と「性差」 日本語の「性差」研究の歴史 日常会話の「性差」—『日本語日常会話コーパス』に基づく分析を通して— 平安時代語に見られるジェンダー的性質について—通時コーパスによる分析— 地域方言の「性差」を探る—関西方言話者の談話資料から— 同志社女子大学 森山由紀子 国立国語研究所 小磯 花絵 青山学院大学 近藤 泰弘 大阪大学 高木 千恵		